

事業所名	ドリムズ・21st 鈴鹿 桜島校		公表日	令和7年2月18日		
	チェック項目			工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・活動スペースを分けて取り組みを行う ・平癒の為 スタッフの目が行き届き狭く 広さも十分に取れている ・小部屋・中庭部との敷居を分け 尚且つ 目録コーナーやパーソナルスペースの確保で対応する事が可能となっている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	2	・定員 利用数に合わせた配置数を心掛けている ・予め スタッフ配置に関してはホワイトボードを活用し適切な人員配置を確保し掲示している ・配置基準の5人に1人を守れている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・タイマーや視覚化 構造化を行っている ・各教室に敷居を敷き直しお掃除 遊び時間での玩具の置き場所やルール説明は見える化で標示している バリアフリーではないが玄関前にスロープ設置 トイレに手すりや立位不安定な生徒には靴履き様の専用の椅子を準備している ・パーテーション等での仕切りを行っている	・廊下等に手すりがなくバリアフリー化はされていない ・遊び部屋の広さが足りないと感じる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・清掃をおこない活動に合わせてパーテーションを取り広げている ・清掃当番表を作成しており日々の清掃にプラスしてマジックリンでの清掃を行っている ・目録コーナーや遊び場所といった活動に合わせた教室を確保している ・冬は加湿器での湿度調整を行っている ・空間はカリキュラムに合わせて十分にある	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・状況に合わせて個別環境で対応している ・パーソナルスペースを確保しており 集中できない時やクールダウンが必要な時等の使用は可能となっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・朝礼で日々の振り返りをおこなっている ・月に1～2回の反省ミーティングで事前アンケートを取り 全スタッフが意見を述べる様な取り組みを行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・頂いた評価表を基に改善案を検討している ・アンケートを振り返り 意向に沿った改善が出来る様 ミーティング等で全スタッフが意見交換の場を設けている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・月に1回ミーティング実施改善等の話し合いを行っている ・日々の朝礼 毎月のミーティング等で業務改善に対する意見交換を行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・相談支援事業の相談員より意見を伺う機会がありスタッフ間で共有をし改善を行う	・現在 スタッフ 保護者様評価のみとなっているが今後 様々な観点から改善に繋げたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・会社内で研修やスタッフ間で勉強を行っている ・新入社員は必ず研修を行っている	・コロナ禍より研修（外部）が減少しているが動画視聴やzoom研修での共有が少なく ・研修の機会がない
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・尚前期が決まっておらず 保護者様へお伝えしている ・支援計画書作成（児発管）を行った後に全スタッフに回覧し共有している ・懇談は必ず行い 相談支援事業所の相談員にも参加してもらい共有している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・児発管だけでなく懇談に参加しニーズや課題を全体で共有している ・定期的に保護者様との懇談を行い課題やニーズの共有を行っている ・懇談やモニタリングで様々な意見を取りつつ その子にとって何が必要なのかを考え作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・児発管へ児童の様子を伝え 最善となる支援になる事を目指している ・日々の朝礼等でスタッフ間で意見交換を行い課題やニーズの共有を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・更新があった際にスタッフ間で回覧・共有 ・支援計画書の回覧や日々の朝礼での共有を行っている また 確認事項書を作成し毎日組み込んでいく	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化したツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・保護者様との対面での会議や連絡機やLINEを通してアセスメントを行いスタッフの記録をしている ・支援記録や観察記録等を使用し確認している ・日々の子どもたちの様子がカリキュラムに合わせた個別ミーティングにて確認をとる	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、 「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・各支援項目に沿った支援が行われている ・児発管よりスタッフに聞き取りを行いモニタリングを実施（必要時） また 生徒との懇談や保護者様との懇談を通して要望等をお伺いし 支援内容を設定している ・個々に合わせ丁寧に作成している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・会議等を設け 立案や業務中に企画をしている ・朝礼時や月に1～2回のミーティングでの立案・共有を行っている ・基本的なプログラムは決まっているが 時にはイベントを入れる等をし工夫している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・固定化にならない様に内容を考えており 生徒の希望も取り入れている ・情報共有を行うことにより日々の確認事項書を作成し日々に沿った支援の共有をしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・一人一人に合わせ 個別・集団それぞれ組み合わせで計画（児発管）支援を行っている ・社会性を身に付けるため また コミュニケーション力を養うためにも計画書を作成し（児発管）朝礼時等で共有している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・朝礼での共有を行い支援についての確認をしている ・日々の確認事項書を作成しており朝礼での打ち合わせ共有 ホワイトボードを使用して分担を共有している ・スラックの活用	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・振り返りを行い次回の支援に向けて検討をしている ・打ち合わせはしていないが支援記録の記入業務や特記事項の共有はその日のうちに共有している	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・日々 記録を行い 支援内容の振り返りや改善や改善を職員間で行っている ・支援記録のExcel化→データの活用 活動別やキーワードで検索し支援計画に反映		
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・会議時に行われている ・PCでの支援記録（分担）を翌日までに朝礼での振り返りを行っている ・モニタリングを行い気になる箇所等があれば保護者様へも共有し見直しをしている		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	7	0	・将来に向けた活動 療育 活動 外出を適し 余裕を提供すると同時に地域に Outreach 交流の機会を図っている ・児発管より日々の記録の確認やスタッフへの聞き取り等で実施できている ・学習支援だけでなく様々な人と活動を行う等 社会生活に向けた支援を行っている		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・自己選択出来る様 いくつかの選択肢を用意し 自らの気持ちで伝えられ実施している ・レッスンの選択やおやつでの選択 毎日の自己決定ができる項目を設けている ・子ども自身のことは必ず本人に確認をし決定してもらっている		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・できる限り参加し状況を伝えている ・児発管がサービス担当者会議や関係機関への児発管等の参加をしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	・必要に応じて児発管より関係機関との連絡共有を行っている ・保護者様を介して医療機関での情報提供は行われている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	・必要に応じて保護者様を通じて共有している ・保護者様より下校時刻や行事予定は毎月提供していただき連絡調整も直接行っている ・保護者様だけでなく支援員、学校の先生ともやり取りを行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	・利用前に相談員さんへ主に児発管が必要に応じた情報をお伝えしている ・保護者様を介してや相談支援事業所との情報共有が行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	・必要に応じた関係機関 担当者との情報共有（児発管）を行っている ・保護者様への情報提供を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	・相談員から助言を受けて児発管より共有している ・研修があれば積極的に参加している	・助言を受ける研修等は行われていない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	・児童館へ出かけたり公園へ出かけたり地域の子どもと関われることがしるるではないか ・公園へ行く機会があり地域の公園で近隣の児童生徒との交流が持てる事がある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	・可成り参加している ・積極的に担当者支援会議等に参加し（児発管）保護者様、相談員・支援学級担当者（先生）と意見交換を行う	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・LINE 連絡帳 電話 対面 様々なツールでお伝えしている ・送迎時の対面時やLINEや連絡帳といったツール（電話含）にて伝え合っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・情報がある際は玄関等で振り出しをしている ・家族参加の研修は行ってないが事業所だけでは不足しているため支援方法等の情報提供を行っている ・主にアセスメント、懇談の際に保護者様と情報交換を行っている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に説明を行っている ・見学や契約時に説明を行うこととお知らせがあれば都度 説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の最優先の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・児童本人の気持ちを直接聞く 面談時に意向を聞き 課題・ニーズを支援し取り入れる様にしている ・保護者様とは面談や対面（送迎時）にて意向を伺う 生徒には面談や日々の活動での観察を踏まえて保護者様にお伝えしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・見学 契約時に説明を行っている ・懇談時での説明を行い 後日 同意のサインをいただいている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・話を聞き面談を実施 情報をもとにできる限りに助言を行う ・送迎時の対面時や連絡帳・LINE・電話といった相談時には迅速に対応している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	・イベントの企画をした際に兄弟・保護者様も参加できる内容を行っている	・保護者様同士の交流が持てる場所を設ける事はできず、ご家族様が参加できるようなイベント等の開催が必要と思われる
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	・体制・対応を事前に職員間で共有 何かあった際は直ちに対応している ・お問い合わせは（苦情以外でも）迅速な対応ができる様にスタッフ間で共有している	・人新奥には対応していると思うが利用者や保護者の意向には完全には対応しきれていない
	42	定期的な通信等や発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	3	・活動写真等を保護者様のLINEへ発信 喜びのお言葉をいただいている ・HPは不定期になっているがイベント等での様子を写真撮影し個別でLINEにて発信している	・毎回ということができないので定期的にできる必要がある ・HPがストップしている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・個人カルテ等 鍵付きの扉へ保管している ・鍵付きロッカーでの保管やシュレッダーでの破壊 ・カーテンでの目隠しを行っている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・視覚や対面等 様々なツール 手法を心掛けている ・情報伝達はできるかぎり保護者様の要望に沿って行う様になっている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		・地域の方の招待はしていない ・一度のみ行ったが地域の方の参加はなかった（告知なし）
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・作成済 まとめてすぐに見られる場所に設置定期的に確認 訓練をしない ・年に2回 長期休みでの避難訓練や防災訓練を行い各マニュアルも保護者様にお渡ししている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・万が一に備え訓練を実施 確認している ・長期休み時に災害のための訓練を行い避難経路の周知もしている また 上靴を履く理由も日々説明を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・フェイスシートや病院受診や経過についてお知らせいただき共有している ・保護者様より服薬や病院受診の報告等があれば迅速に共有している ・はじめのアセスメントで必ず確認している	・インフルエンザやコロナの予防接種は不明
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・事前に保護者様へお聞きし対応している ・医師の指示書に基づくものと保護者様からの要望等でスタッフ間で共有し対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・必要な訓練を外部等実施 支援内で事故が起きない様に取り組んでいる ・安心・安全に過ごしていただく為に事業所内でのこまかなルールを作りスタッフ間や生徒にも周知できるように説明や指示を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・長期休みの防災訓練や各マニュアルを配布している	・緊急連絡先 災害時等 確認を行っているが定期的に周知することで安全につながるのではないかと
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・共有し職員間で周知 検討をしている ・ヒヤリハットではないが危険行為やクワガタ等は速やかに再発防止策をスタッフ間で話し合う 記録には文字を色分けで記入している	・ヒヤリハットとしての対応が必要
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・研修の参加や職員間でのミーティング等で防止する為 日々生徒について情報共有を行っている ・社会福祉協議会が主催の権利保護（虐待防止研修）を受講し共有ができる様に準備中	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	6		・運営規定に記載しているが保護者様が見られる場所に設置していない 今後は手に取りやすい場所への設置や契約時に改めて運営規定も一読にお渡しする事を検討